

産業常任委員会の記録

(建設環境課)

招 集 年 月 日	令和4年3月9日（水）
招 集 の 場 所	松野町議会議場
開 会	3月14日（月） 午後 1時27分
閉 会	同 上 午後 2時35分
出 席 委 員	関本 豊、山下 智恵、村尾 重利、赤松 紀幸、加藤 康幸、 森岡 健治、近藤 由美子
欠 席 委 員	
付 議 事 件 説 明 の た め 出 席 した者の職氏名	町長 坂本 浩、副町長 八十島 温夫 課長 谷口 健二、課長補佐 金谷 健行、上級専門員 山崎 理恵 係長 信崎 恵一、係長 細川 洋一、係長 森田 知之
職務のため出席 した者の職氏名	議会事務局長 大谷 吉廣
付 議 事 件	1 議案第20号 令和4年度松野町一般会計予算について ◎歳入 （該当分） ◎歳出 4款 衛生費 8款 土木費 11款 災害復旧費 2 議案第23号 令和4年度簡易水道特別会計予算について

関 本 委 員 長	ただいまから、建設環境課所管の付託案件の審査を始めます。 まず、議案第 2 0 号「令和 4 年度松野町一般会計予算」歳入該当分、歳出 4 款衛生費、8 款土木費、1 1 款災害復旧費、建設環境課所管分の審査を行います。担当課長に説明を求めます。
谷 口 課 長	(業務計画説明) 続きまして、議案第 2 0 号 令和 4 年度 松野町一般会計歳入、歳出予算、建設環境課所管分について、ご説明いたします。令和 4 年度予算書の 7 6 ～ 7 7 ページをお開き下さい。歳出 4 款衛生費について、ご説明いたします。1 項保健衛生費、3 目環境衛生費の予算額は、3 5 1 8 万 3 千円で、前年度対比 1 2 1 9 万 1 千円の増額となっております。内容は、職員の人件費、町内各部落から就任いただいております環境保全推進員報酬のほか、1 0 節 需用費では、広見川等一斉清掃作業用の燃料費や「花と緑の町づくり事業」推進のため活動いただいておりますボランティア団体へ配布する花苗購入費等を計上しております。本年度は、各地区ボランティア団体のご協力により、休耕田や耕作放棄地を活用し、コスモスの種蒔きを行いまして、開花時には、町内外からの多くの見学者があり大変好評を得ております。引き続き、地域活性化に繋がる協働による事業の展開をしていきたいと考えております。1 1 節役務費では、広見川のほか町内 8 河川の水質検査手数料、1 2 節委託料では、狂犬病予防委託料のほか不法投棄対策として、町内 2 箇所に設置しております監視カメラ移設に係る機器調整委託料を計上しております。1 8 節負担金補助及び交付金では、協議会等の運営負担金のほか、生活排水対策として町が推奨しております小型合併処理浄化槽設置費補助金として 1 0 基分、6 5 2 万 9 千円を計上しております。浄化槽設置費補助金は、これまで、浄化槽本体設置に係る補助金のみでございましたが、令和 4 年度から、国が新たに浄化槽整備の推進を図るため、宅内の配管に対して、上限 3 0 万円、便槽撤去費に、上限 9 万円の補助制度を創設しております。引き続き、補助制度周知による生活排水対策及び水質浄化に努めることと

	しております。地球温暖化対策の取組みといたしましては、温室効果ガス排出量削減を目的とした太陽光発電、蓄電池などの新エネルギー機器等設置費補助金、計１１０万８千円を計上しております。２７節繰出金では、簡易水道特別会計繰出金として、１３１５万９千円を計上しております。内容は、簡易水道特別会計において、準備を進めております公営企業会計適用化に係る公営企業会計適用債元利償還金のほか、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した松野簡易水道の管網図のデジタル化を計画しております。デジタル化による施設の維持管理、非常時の関係機関による業務の効率化を目的として、事業費を一般会計から繰出し、水道管網図等クラウドGIS構築を行うものであります。これらの財源につきましては、２３ページをお開き下さい。１４款、２項、１目、５節新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金１億５３３万３千円のうち、水道管網図等クラウドGIS構築事業分として、１０９２万５千円、１４款、２項、３目、２節に、浄化槽設置に対する循環型社会形成推進交付金２１７万６千円を計上しております。２６ページをお開き下さい。１５款、２項、３目、２節浄化槽整備事業費補助金１４３万６千円、新エネルギー等関連設備導入促進支援事業費補助金２０万円、その他、環境衛生手数料として、畜犬登録手数料などを計上しております。予算書の７７から７８ページをお開き下さい。続いて、４款 衛生費 ２項 清掃費、１目 塵芥処理費について、ご説明いたします。予算額は、２８００万円で、前年度対比５９２万５千円の減額となっております。内容につきましては、職員の人件費、廃棄物収集車の運行、ごみ処理に係る経費のほか、１０節需用費では、塵芥作業車等の燃料費や修繕料など６５７万２千円、１１節 役務費では、ごみ袋販売にかかる手数料のほか、ごみ収集等に係る経費を計上しております。１２節委託料では、国の基準により廃止の手続きを進めております「松野町一般廃棄物最終処分場」のモニタリング調査委託料１２９万８千円、その他、粗大ごみ等の廃棄物処理に係る委託料を計上しております。
--	---

す。１８節負担金補助及び交付金では、各地区に設置しておりますごみステーションの整備事業に係る補助金１２万円を計上しております。塵芥処理費の財源につきましては、２１ページをお開き下さい。

１３款、２項、３目、２節の塵芥処理手数料では、ごみ袋販売手数料、粗大ごみ収集手数料など、７２７万円、その他雑入として古紙売払収入などを計上しております。これらの収入につきましては、塵芥作業に係る経費のほか広域事務組合の運営負担金に充てられるものであります。次に、予算書の９４～９６ページをお開き下さい。歳出８款土木費についてご説明いたします。１項土木管理費、１目土木総務費については、予算額、９４１万９千円で、前年度対比３万１千円の減額となっております。内容は、職員の人件費のほか、車両関係費用や事務費、協議会費等の義務的経費が主なものです。同じく、２項道路橋梁費、１目道路橋梁総務費については、予算額１８万５千円を計上しております。内容は、道路協会、各種協議会の負担金が主なものです。続いて同じく、２目道路維持費については、５２２万４千８百円で、前年度対比６８万２千円の増額となっております。内容は、職員の人件費をはじめ、１０節 需用費では、道路維持管理作業に係る作業車の燃料費や修繕料に、２８万６千２百円、１１節役務費では、事業にともない発生する産業廃棄物処理、その他業務にかかる経費を計上しております。１２節委託料では、直営事業に係る町道維持管理のほか、部落要望や地域の生活環境整備を目的に実施しております道路等維持管理事業に係る測量設計委託料１００万円を計上しております。１４節工事請負費では、生活道路、排水路の維持管理及び交通安全対策に係る整備費、１１５万６千９百円計上しております。道路等維持管理事業につきましては、部落要望に基づき年間４から５箇所、各部落２年に１箇所程度の事業実施を予定しており、引き続き、計画的な事業の推進による住環境の整備に努めることとしております。１５節原材料費では、直営事業に係る町道の維持管理、部落要望及び補助対象外となる事業の工事用原材料費として７００万円、そのほか作業車両や

	機械に要する費用、燃料代等、直営事業に必要な予算を計上しております。これらの財源につきましては、１８ページをお開きください。 １１款、１項、１目、１節、交通安全対策特別交付金５０万円、その他、町道占用料などを充てることとしております。予算書の９７～９８ページをお開き下さい。同じく、３目道路新設改良費については、予算額２億２７７万３千円で、前年度対比１２４万７千円の増額となっております。内容につきましては、職員の人件費や事務等に必要な経費のほか、１２節委託料では、道路法施行令に基づき５年に１回、策定しております橋梁長寿命化修繕計画策定委託料、１２３０万円、その他、道路事業に係る測量設計、登記測量調査、道路台帳補正に係る委託料を計上しております。１４節工事請負費では、町道４路線の整備をはじめ、点検結果に基づき実施しております橋梁の修繕工事８件、舗装修繕工事３路線の、計１億５７４０万３千円を計上しております。委託料、工事請負費の詳細につきましては、お手元に配布しております資料をお目通しください。これらの財源につきましては、２３ページをお開き下さい。１４款、２項、５目、１節の道路新設改良費補助金として、８９１２万３千円、３４ページをお開き下さい。２１款、１項、１目、１節の過疎対策事業債の内、９６９０万円が、道路改良、橋梁や舗装修繕等の交付金事業補助残に充てることとしております。９８ページをお開き下さい。８款土木費３項河川費、１目河川総務費については、予算額５万７千円で、内容は消耗品費及び協議会会費等の義務的経費であります。同じく、２目砂防事業費については、予算額１億４８７９万円で、前年度対比２９４５万２千円の増額となっております。内容は、急傾斜地区と指定されている地域の土砂災害防止対策として、がけ崩れ防災対策事業を８件予定しております。１２節委託料では、測量設計費として２７７万３千円、１４節工事請負費１億４６００万円のほか、事務費等の経費を計上しております。工事請負費の詳細につきましては、お手元に配布しております資料をお目通しください。がけ地危険箇所の本年度末整備率は、約５０
--	---

パーセントとなっております。引き続き、災害に備えた施設の維持管理、対策事業の推進に努めることとしております。これらの財源につきましては、27ページをお開き下さい。15款、2項、6目、1節の砂防事業費補助金として、8760万円、続きまして35ページ、21款、1項、2目、1節の緊急自然災害防止対策事業債、6050万円を充当することとしております。99ページをお開き下さい。同じく、4項 住宅費、1目 住宅管理費については、予算額3025万6千円で、前年度対比1149万2千円の減額となっております。内容といたしましては、職員の人件費のほか、10節、需用費では、町営住宅の光熱水費や修繕料792万4千円、11節、役務費では、浄化槽の維持費や建物共済掛金など305万3千円、12節、委託料では、浄化槽管理のほか、民間木造住宅の耐震診断10件分など、197万4千円を計上しております。16節公有財産購入費では、経年劣化により使用が困難となった風呂釜や給湯器等の購入費として、100万円を計上しております。18節、負担金補助及び交付金では、昭和56年5月以前に、建築された民間木造住宅の耐震設計から改修事業として、木造住宅耐震改修事業費補助金303万2千円を計上しております。空き家対策では、倒壊の恐れや周辺環境に悪影響を与えている空き家の除却に係る費用への空き家再生等推進事業費補助金として、5件分、400万円、木造住宅の1室をシェルター整備する木造住宅耐震化シェルター設置事業補助金として、3件分、120万円、地震時に倒壊の危険性のあるブロック塀の除却及び建替え工事に要する経費の一部を補助するブロック塀等 安全対策事業費補助金3件分、90万円を計上しております。これらの財源につきましては、住宅管理使用料のほか23ページをお開き下さい。14款、2項、5目、2節の住宅管理補助金では、社会資本整備総合交付金として、484万円、27ページ15款、2項、6目、2節、住宅管理費補助金では、木造住宅耐震化、空家等除却促進事業費として、174万円を計上しております。125ページをお開きください。11款 災害復

	旧費、２項公共土木施設災害復旧費、１目道路橋梁災害復旧費は、存 置予算１千円を計上しております。以上で説明を終わります。よろし くご審議いただきご承認賜りますようお願い申し上げます。
関 本 委 員 長	担当課長の説明が終わりました。 委員からの質問を許します。
森 岡 委 員	基本方針で、災害に備えて、孤立化する地区ですね、防災安全課の ほうから、土砂災害区域が新たに出ておると思いますが、そこで県国、 町道いわゆる防災安全課の時にも言いましたが、どうしても避難路、 いわゆる孤立化しては、災害復旧には、日にちがかかってしまいます のでそういう対策のために、崖崩れ地区の調査とか、それに対して県 や国に対してまた要望されているのか、その辺を教えていただいたら と思います。
谷 口 課 長	ただいまの御質問についてお答えいたします。 土砂災害の危険箇所、町内には約指定されている箇所が、現在３８ ０ヶ所程度ございます。 そのうち、崖崩れ防災対策事業で整備を進めているか所について は、２４０ヶ所ございまして、これまでに１２０ヶ所程度の整備が終 了しているところでございます。 この３８０ヶ所全体であるんですけれども、これらの箇所を全てハ ード事業等で整備することは困難でございますので、地方局の河川港 湾課等とも協議をいたしまして、現在、そのような、すぐに対策が出 来ない箇所については、ソフト事業と土砂災害のマップを作成した り、ソフト面での対策を講じております。 要望についてなんですけど、こちらにつきましては土砂災害があっ た箇所や落石があった箇所など、すぐに県のほうには報告しながら、 土砂災害に備えた要望についても行っておりますので、そのような箇 所を確認するようなことがありましたら、町のほうにもまた、御一報 いただいたら、あわせて要望させていただきますので、よろしく願 いしたいと思います。

森岡委員	答弁ありがとうございます。 あわせてですが、いわゆる各地区に行く交通網の、道路の山留め対策、これがいわゆるこれには、県と国、県道、国道ありますんで、町がなかなか言えませんけども、しかし県には要望をしていかないと、特に、ぱっと見、まず奥野川路線でもそうですね、それから、上家地路線、これも県道ですね、それから、国道が、国道は祝井あたりですか、地区的に言えば、あと滑床線ほか、町道に対しては結構ありますが、その辺含めて、要望をして道路の、避難路として使えるような、安全安心のできる取組を少しでも早くからお願いをしていかないといけないんじゃないかなと思いますので、その辺課長よろしく願いしたらと思います。
谷口課長	ただいまの御質問でございますが、というか要望でございますけれども、道路、河川等におきましても、県のほうでも、構造物の調査を行うなど、法面对策、落石対策等もあわせて、全て調査も行っておりますし、町としても、そういう箇所が見られましたら要望をしているところでございますので、今後、大規模災害に備えた、避難道路としての活用や日頃の生活道路としての活用、安心安全で通行できる道路整備に向けて町のほうも取り組んでいきたいと思ひますし、県のほうにも、国に対しても、引き続き要望させていただきたいと思ひます。
赤松委員	小型合併処理浄化槽設置補助金についてお伺いしたいんですが、今回当初予算に652万9,000円が計上されておりますが、前年度は10基分の340万9,000円を当初予算に計上され、最終補正予算で、約半額の154万4,000円を減額されましたが、4年度の当初予算には、この倍額の652万9,000円を計上されているわけでございます。 ただいま課長からの説明によりますと、新規分が5人槽分16万6,000円、転換分が5人槽で33万2,000円の経費を計上されたということで、どうも今までの補助制度と改訂といいますか、更新をされているようにお聞きしたんですが、何分これ資料がございま

谷口課長	せなので、大変私も、理解しにくくなってるんですが、もう少し分りやすく、予算の内容とそれから補助の改訂といいますか、その説明をよろしくお願いしたいと思います。 ただいまの質問についてお答えいたします。 資料がないということで、なかなかわかりにくい点ございましたこととお断りさせていただきたいと思います。 この小型合併処理浄化槽の整備につきましては、広域事務組合で作成しております地域計画に基づいて、浄化槽の整備を進めております。 本町では、年間10基分の浄化槽の整備を毎年、計画的に進めておりますが、昨年度は、実績が約7基分程度でございまして、予算の減額をしているところでございます。 来年度から予算のほうも倍増しておりますが、これは国が新たに、浄化槽整備の推進を図るために、新たな補助制度を創設しております。これまでは、浄化槽設置本体のみの事業費に対しての補助金でございましたが、来年度からは、宅内配管浄化槽までの配管に対して、1件当たり最大30万円、あと便槽の撤去費、これに対しても最大9万円の補助を創設しているところでございます。 それらを今回、当初予算に計上させていただきまして、宅内配管30万円分を8基分240万円と、便槽撤去費8基分72万円を計上いたしまして、計652万9,000円を令和4年度は予算計上しております。浄化槽の整備として、町においても推進しており、設置していただくように進めているところではございますけれども、近年、事業の推進が図れてないところもございまして、町内の整備率は、約50%となっているところでございます。今後、新たな補助制度を周知して、事業の推進を図りたいと考えているところでございます。
赤松委員	説明で大体概要はわかったんですが、新規のみならず、今回は、更新といいたいでしょうか、新しくやり替える人に関しても補助制度が出来たということで、大変、町民としては良い制度だと思います。

	あくまでもせっかいいい制度が出来たわけでございますので、今回これを町内に浸透させて、皆さんの御協力をいただくというようなことになってくるわけでございますので、是非分かりやすくPRをいたしますし、また今後も議会に対しても、私ども聞かれたら、教えて町民の方にも、こういう制度があるということを教えてあげていかなければならないと思っておりますので、私らにも十分理解できるようなことで、ひとつ資料等も御配慮いただいたらありがたいと思います。 以上で終わります。
近 藤 委 員	近々の課題としての、地球温暖化があるんですけど、ものすごくある一定以上の温度になりますと、声まで取れなくなるような時代になるんじゃないかなと言われてるぐらいなんですけど、まず私たちは、小さなところから始めなければならないと思うんですけど、ごみの減量化とか食品ロスとか書かれてるんですけど、果たしてそれが本当に出来ているかどうかになっていうところが、すごく問題があると思うんですけど、それはどのように取り扱っているか、周知してるかっていうことについて聞きたいと思います。 広報では見ているんですけど、よろしくお願いします。
谷 口 課 長	ただいまの御質問についてお答えいたします。 地球温暖化対策としての取組ですけれども、町のほうでも廃棄物処理対策これがもう1番の課題でございまして、廃棄物の削減、あとリサイクルの推進をしております。 ごみ処理の実績といたしましては、毎年、ほぼ同様の廃棄物の搬出量となっております。 プラスチックの処理についても、現在は、環境センターのほうで焼却処分をしておりますけれども、マイクロプラスチックや海洋汚染等の問題もございまして、法律に基づくプラスチック処理、リサイクルを進めていくというような方向になっており、現在は、町におけるプラスチックのリサイクルは努力義務となっておりますが、今後、プラスチックの問題等についても、啓発活動を行うなど、ごみの減量化や

	処分の方法についても、広域事務組合等でも協議を重ねながらごみの減量化に努めたいと考えております。 また、地域の環境保全推進員さんにも御協力いただいております、ごみ、廃棄物の不法投棄、対策等にもパトロールを一緒に行っていただくような取組をしておりますので、引き続き、環境保全対策について、十分検討させていただいて、ごみの減量化に努めたいと考えております。
近 藤 委 員	毎月見ているんですけど、あんまり本当に量は変わらないように思われますよ。 一人一人は気をつけないければ本当にゴミは減らないと思うし、食品ロスも一緒です。 その小さなところから始めていかんと、大変なことになるっていうことを、周知徹底してほしいなと私自身は思っております。 以上です。
関 本 委 員 長	他にありませんか。 質問が無いようであれば、採決に移ります。 ただいま審査しております、議案第 20 号について、原案のとおり御承認いただけますか。 (異議なしの声)
関 本 委 員 長	賛成全員です。 したがって、当委員会は、議案第 20 号「令和 4 年度松野町一般会計予算」歳入該当分、歳出 4 款衛生費、8 款土木費、11 款災害復旧費、建設環境課所管分については原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。 続きまして、議案第 23 号「令和 4 年度松野町簡易水道特別会計予算」の審査を行います。 担当課長に説明を求めます。
谷 口 課 長	議案第 23 号 令和 4 年度松野町簡易水道特別会計予算について、ご説明いたします。簡易水道特別会計予算書の 2 ページから 6 ページ

になります。特別会計予算総則、第1表歳入歳出予算から同事項別明細書をご覧ください。令和4年度の予算額は、歳入歳出それぞれ1億2000万円で、前年度比900万円の増額となっております。7ページをお開き下さい。まず、歳入についてご説明いたします。1款事業収入では、水道使用料を主としたもので、9410万8千円、2款 財産収入に、財政調整基金預金利子2万4千円、3款繰入金は、現在、簡易水道特別会計において、準備を進めております公営企業会計適用化に係る公営企業会計適用債元利償還金、223万4千円のほか、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した、松野簡易水道施設の管網図デジタル化事業として、水道管網図等クラウドGIS構築事業費1092万5千円を一般会計から繰入れ事業を実施するものであります。同じく基金繰入金として、財政調整基金繰入金1千円、8ページをお開き下さい。4款 繰越金に、前年度繰越金1千円、5款 諸収入に、雑入7千円を計上しております。6款町債では、公営企業会計移行業務に係る公営企業会計適用債1270万円を計上しております。歳出については、10～11ページをお開きください。総務費、1項総務管理費、1目総務管理費は、8028万円で、前年度対比1079万6千円の増額となっております。内容については、施設管理業務に係る職員の人件費、10節需用費では、施設管理業務に係る消耗品費、燃料費、光熱水費のほか、各施設や配管等の修繕料、維持管理費など870万6千円、11節、役務費では、通信運搬費、水質検査等の各種手数料及び保険料を計上しております。12節委託料では、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、松野簡易水道の管網図デジタル化を図る、水道管網図等クラウドGIS構築を計画しております。現在、松野簡易水道関係の施設や管路図は、紙ベースの図書により管理をしておりますが、国においては、災害時に備えた施設情報のデジタル化を推奨しております。施設管理の面においても、町既存のGISシステムと水道施設データが連携するシステムを導入することにより、配水、給水管やメーター器

	などの水道施設の管理や工事履歴の確認が容易となるほか、断水、火災等の非常時には、関係機関との迅速な連携が図れることとなります。また、アプリ利用による職場内の密を避ける業務により、新型コロナウイルス感染拡大防止対策としても事業継続が可能となり業務の効率化が図れることから、臨時交付金1092万5千円を活用しシステム構築を行うものであります。その他、令和2年度から令和4年度までの3ヶ年計画により、取り組んでおります公営企業会計移行支援委託料1278万2千円、豊岡前浄水場ろ過砂洗浄業務770万円、水道システムに係る保守委託料を計上しております。14節 工事請負費では、平成30年7月豪雨の影響により被災をしております葛川浄水施設の管路の修繕工事費として、176万3千円を計上しております。15節から26節にかけては、水道施設管理に必要な資材の購入費、各協議会負担金や公課費等を計上しております。12ページをお開き下さい。公債費には、過去に実施いたしました水道事業の起債償還元金や利子3108万3千円、予備費は、863万7千円を計上しております。以上で説明を終わります。よろしくご審議いただきご承認賜りますようお願い申し上げます。
関 本 委 員 長	担当課長の説明が終わりました。 委員からの質問を許します。
赤 松 委 員	ちょっと事務的なことをお聞かせ願いたいと思いますが、ただいまの費用の中で、予算資料で7ページ、そこに一般会計繰入金ということで、1,315万9,000円が計上されておりますが、説明では、公営企業会計適用債の元利償還金の2分の1に相当する繰出金については、普通交付税の措置がされるということで、繰出金が100%普通交付税の対象ということで説明があつとるんですが、その元になる金額ですが、1,315万9,000円の倍ということになるんですかね。 2分の1の繰り出しが、交付税対象となるという考え方になれば、これが全て交付税対象になるのであれば、その倍額の2,631万8,

谷口課長 八十島副町長	000円の元利償還金があって、その2分の1のこの1,300万 余りが交付税の対象になるという考え方でいいのかどうかを聞きたい のですが、その資料については、元利償還金というのは、先ほど、 説明された中で、予算書の12ページですね。 12ページに、元金と利子とのそれぞれの今年度の予算額が書いて ございまして、3,108万3,000円になっておりますよね、元 金と利子が、合計額が。 これの中で、1番今度後ろは5ページを見ていただいたらと思うん ですが、この中で簡水特会は、起債の今までの発行、内容が、簡易水 道事業債が、現在、簡易水道事業債とそれから2番目の過疎対策事業 債、それから3番目に、公営企業会計適用債というのがございしますが、 今の繰り出しの基準になつとる起債がこれ3番目の起債であろうと 思うんですが、この償還金の2分の1の額を、一般会計繰出金で措 置がされれば、その半分を普通交付税で見ますよというような解釈で いいのでしょうか、そこら辺教えていただいたらと思います。 そしてあわせましてもし、普通交付税で4年度見ていただくのであ れば、現在当初予算で普通交付税算定をされておりますが、その中に もう既にこの普通交付税で措置されることも、額を見込んでの普通交 付税を、今年度想定をされているのか、あわせて教えていただいたら と思います。 よろしくお願いします。 ただいまの御質問でございしますが、3款繰入金の1,315万9, 000円の内訳として、公営企業会計の適用債の元利償還金に223 万4,000円、あと残りの分が、先ほど御説明いたしました水道管 の網図のGIS構築事業費1,092万5,000円、こちらは交付 金の対象となります。あと223万4,000円、公営企業会計の元 利償還金ですが、こちらは一般会計から繰り出したものについては、 100%普通交付税の措置となることとなっております。 今ちょっと元利償還金の問題ちょっと言われておりますけど、今ち
---------------------------	---

	よつと資料上、これ予算書の２０ページは、元金表示だけの４３４万 ９，０００円であるので、今２２３４言われましたけれども、一致し ないのは利息分がその中に入っていない。 いわゆる対象自体は、全てこの借入金額、将来的には、今、３年度 末の現在高見込み２，０６０万、４年度末になれば２，８９５万１， ０００円ですか、それに対する元利償還金の２分の１相当額について は、普通交付税の算定で措置されるということでございます。 それプラス今の１，０９２万５，０００円、管網図の対象で、今回 一般会計からもうこれは義務的に振り出さなければならないという ようなことになるわけです。 以上でございます。
赤 松 委 員	内容は理解出来たんですが、そしたら１，０９２万５，０００円で すよね、これについては交付税の措置はないことということですかね。
八 十 島 副 町 長	これはですね、先ほど言いましたコロナ対策の交付金の対象ですの で、そのまま入ってきたものをそのままうちからトンネル上で出てい くというような中身でございます。
関 本 委 員 長	他にありませんか。 質問が無いようであれば、採決に移ります。 ただいま審査しております、議案第２３号について、原案のとおり 御承認いただけますか。 （異議なしの声）
関 本 委 員 長	賛成全員です。 したがって、当委員会は、議案第２３号「令和４年度松野町簡易水 道特別会計予算」については原案のとおり可決すべきものと決定いた しました。

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するためここに署名する。

令和4年5月19日

松野町議会産業常任委員会委員長 関本 豊